

横浜市議会郊外部再生・活性化特別委員会のみなさまへ

事例紹介

道後オンセーナート（松山市）

2020年12月2日

参考人：岡田勉

象の鼻テラス アートディレクター、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

自己紹介

岡田勉（オカダツトム）

1963年横浜市神奈川区子安通生まれ。

横浜市立子安小学校、横浜市立浦島丘中学校、神奈川県立港北高校卒業。

武蔵野美術大学造形学部修了。

1988年スパイラル/株式会社ワコールアートセンター（東京都港区）に入社。

スパイラル館内での展覧会企画やプロデュース。

2000年頃からは館外事業、地方自治体、民間企業団体、海外団体との展覧会企画、パブリックアート、アートプロデュース事業に多数携わる。

2009年象の鼻テラス開館。アートディレクターとして、テラス、パークの一体活用のミッションもと、各種事業の企画、実施を行う。

*横浜市との協働は1988年から、横浜ランドマークタワー工事前仮囲い、バルセロナ博、横浜アーバンリング展などからスタート。

ZOU-NO-HANA TERRACE

since 2009



象の鼻テラスは、横浜市・開港150周年事業として、2009年6月2日に開館しました。象の鼻パーク内にアートスペースを兼ね備えたレストハウスとして整備され、横浜市が推進する新たな都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する拠点の一つで、横浜市文化観光局と共同で運営しています。

開港当時から異文化と日本文化がこの土地で出会って来たように、象の鼻テラスは、様々な人や文化が出会い、繋がり、新たな文化を生む場所を目指しています。

老若男女、観光客、地域住民等の多彩な来場者層に向け、自主プログラムを随時開催するほか、併設した象の鼻カフェでは、文化プログラムに連動したメニューの提供等も行っています。



象の鼻テラスの運営コンセプト

文化交易

横浜の創造都市政策推進拠点として

【都市観光とアートの融合】に挑戦する



カーボンゼロ社会の実現を目指して
省エネ技術、環境技術とアートの融合

SMART ILLUMINATION

SDGsの実現とアートによる公共空間への応用

FUTURESCAPE

障害者のいない街へ＝障害がハンデとまらない街づくり

YOKOHAMA RENDESVOUS PROJECT

SLOW LABEL

YOKOHAMA PARATRIENNALE

国際港湾都市交流

PORT JOURNEYS

市民が育てるカンパニー目指して

ZOU-NO-HANA BALLET PROJECT

毎週末開催のアートマルシェ

ZOU-SUN-MARCHE

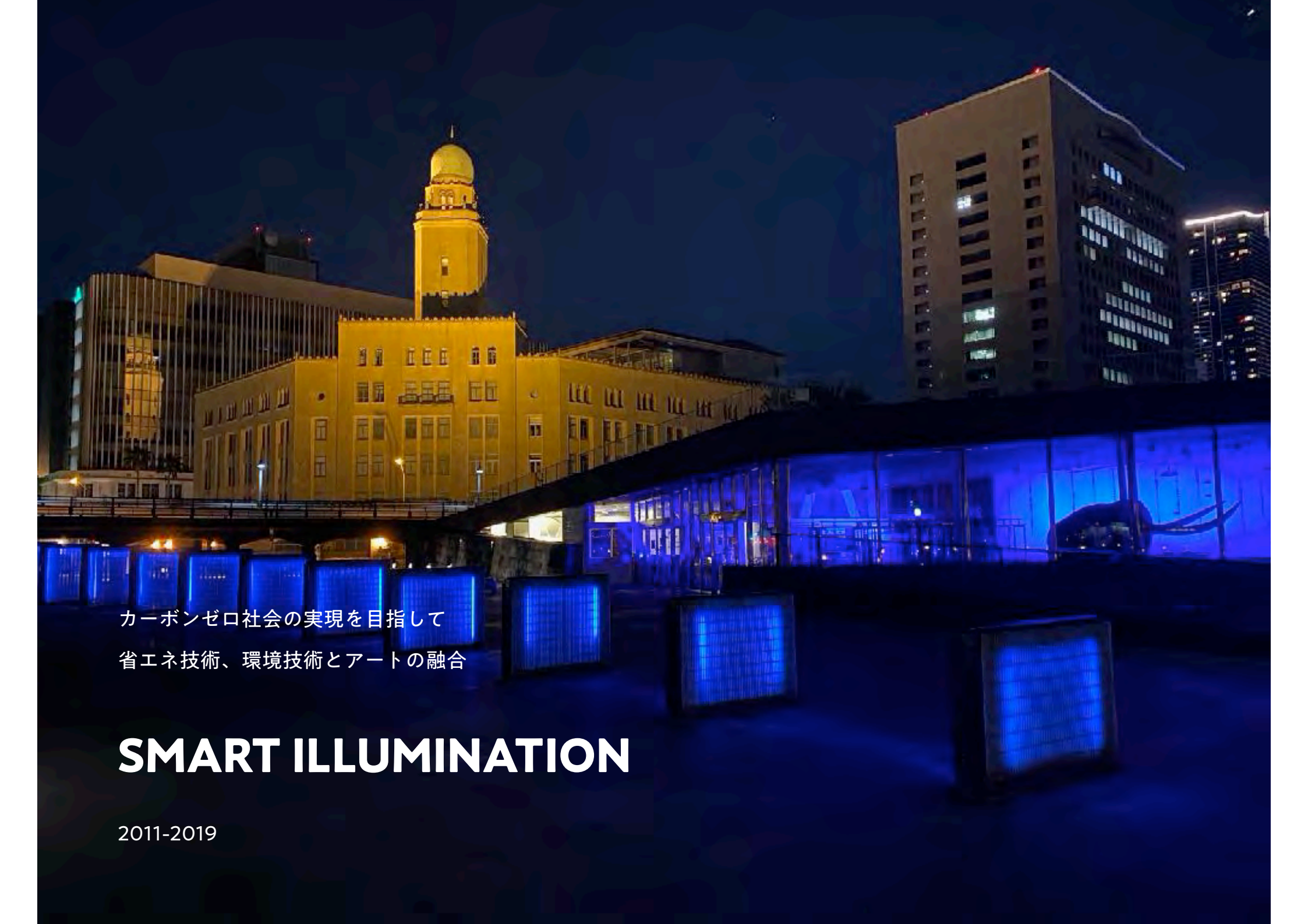
テラスの時間外、夜間活用

THEATER ZOUNOHANA

子供たちにアーティストとの協働体験

ATELIER ZOUNOHANA

AND MORE...

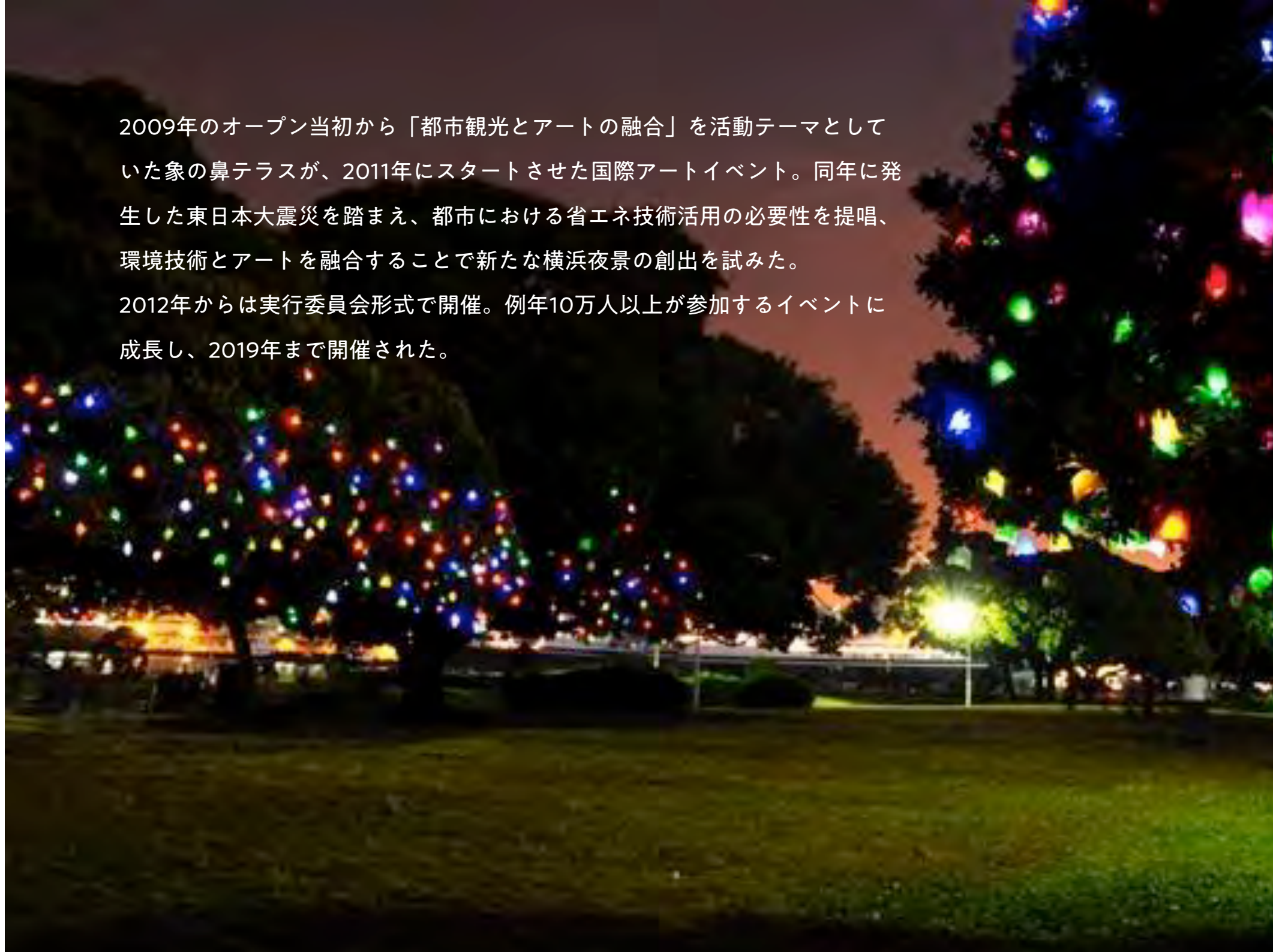


カーボンゼロ社会の実現を目指して
省エネ技術、環境技術とアートの融合

SMART ILLUMINATION

2011-2019

2009年のオープン当初から「都市観光とアートの融合」を活動テーマとしていた象の鼻テラスが、2011年にスタートさせた国際アートイベント。同年に発生した東日本大震災を踏まえ、都市における省エネ技術活用の必要性を提唱、環境技術とアートを融合することで新たな横浜夜景の創出を試みた。2012年からは実行委員会形式で開催。例年10万人以上が参加するイベントに成長し、2019年まで開催された。



《Speed of Light Yokohama – 3 Movements》

NVA /2012



《moving projection theater “Singing Queen”》

Kyoto Takahashi /2015



《power of will! final shooting!》

Lu Yang /2016



SMART ILLUMINATION YOKOHAMA 2019





SDGsの実現とアートによる公共空間への応用

FUTURESCAPE



SDGsの実現とアートによる公共空間への応用

FUTURESCAPE



障害者のいない街へ＝障害がハンデにならない街づくり

多様性を育む

YOKOHAMA RENDESVOUS PROJECT

SLOW LABEL



障害者のいない街へ = 障害がハンデにならない街づくり

多様性を育む

YOKOHAMA PARATRIENNALE



市民が育てるカンパニー目指して

ZOU-NO-HANA BALLET PROJECT

道後オンセナート2014



主催：道後温泉改築120周年記念事業実行委員会

基本方針策定にあたって

課題の共有
立場を超える

ソフトに特化＝ハードよりコスパ高い
アートで街づくり

地域課題の顕在化、地域資源のあぶり出し
＝新たな観光集客装置開発

次世代の街づくりの担い手
発掘・育成

情報発信
共感・共有の醸成

良き伴走者
学び、指導、自立へのシナリオ

基本方針

宿泊者数の減少

女性個人客の増加など
新たな観光動態への対応

国体終了後に予定
されている本館の改修

本館改修後にも
継承可能な新たな
ブランドイメージの構築

アートによる地域資源の
再発見と発信

まち歩きの楽しさを創出する
観光コンテンツの開発

新たな「道後」を牽引する
「担い手」の育成

事業コンセプト

最古にして、最先端。

温泉アートエンタテインメント。

開催概要

会 場：道後温泉本館、エリア内旅館、商店街、周辺エリア

会 期：プレイベント 2013年10月10日（木）
 プレオープン 2013年12月24日（火）～
 グランドオープン 2014年 4月10日（木）～
 フィナーレ 2014年12月31日（水）

主 催：道後温泉本館改築120周年記念事業実行委員会

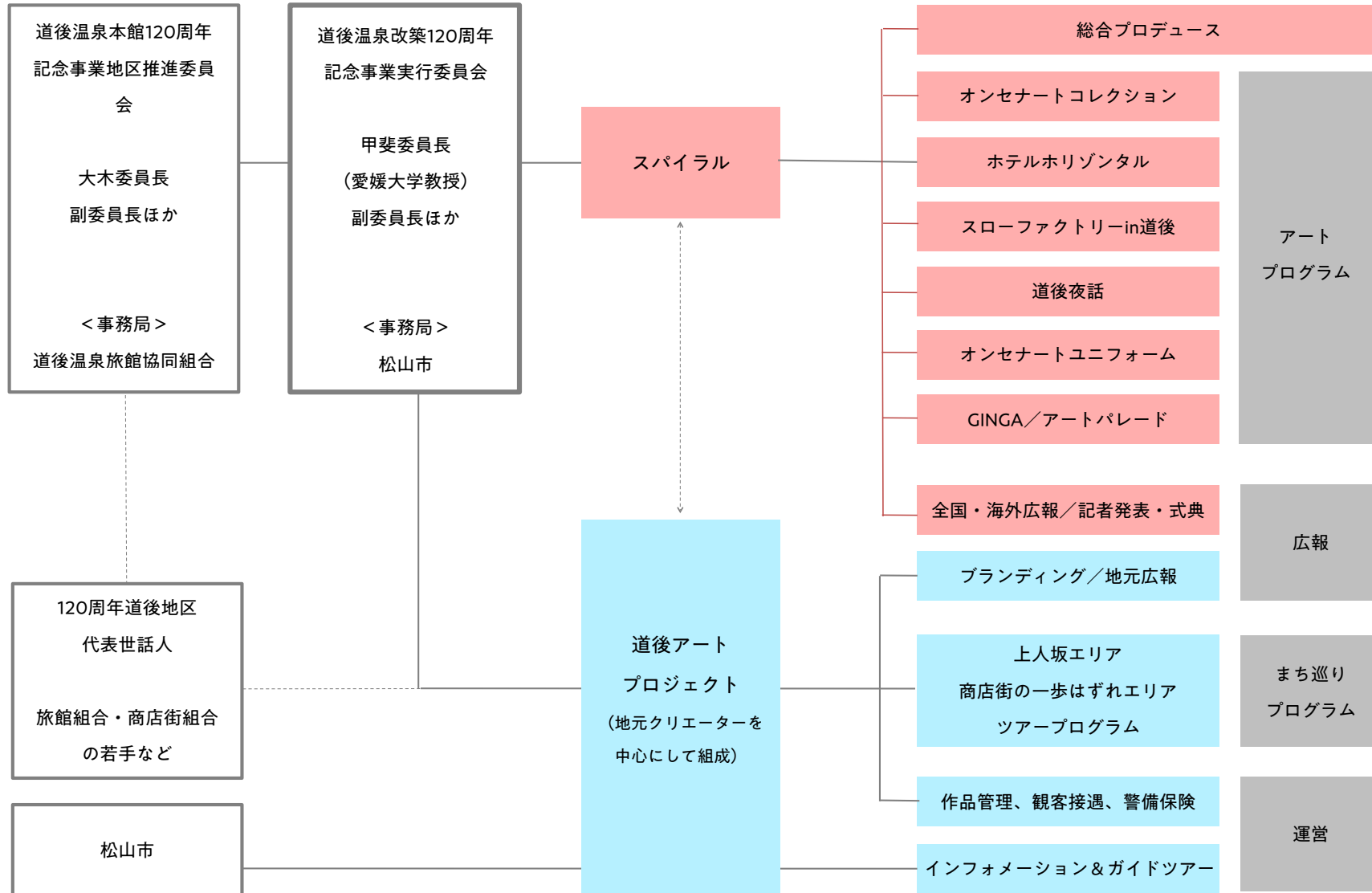
プロデュース：スパイラル

制作：スパイラル+地元の皆さん

アートプログラムの内容

- プレイベント：GINGA光のパレード
- オープニング：本館でプロジェクションマッピング
- オンセナートコレクション：本館、大影絵、アートモール、街区演出
- Hotel Horizontal：宿泊可能な作品づくり、地域内旅館の客室をアート
- スローファクトリー in 道後：プロダクト、ワークショップによるアニメーション制作
- 道後夜話：夜間観光促進のための取り組み
- アートパレード：市民を募りパレード
- クロージング：本館夜間演出

推進体制



2013年12月、一部のプログラムとともにプレオープン

プレオープンパフォーマンス 平野治朗「GINGA」



9名のアーティストによる9の宿泊部屋が登場

ホテルホリゾントル 草間彌生 & 宝荘



ホテルホリゾントル 石本藤雄 & 茶玻璃



ホテルホリゾンタル 荒木経惟 & 古湧園



ホテルホリゾンタル 谷尻誠&ホテル道後プリンス



ホテルホリゾンタル 葉山有樹&ふなや



ホテルホリゾンタル ルヴィルムート & 道後やや



ホテルホリゾンタル Kiki&ルナパーク



ホテルホリゾントル 皆川明&花ゆづき



2014年4月、いよいよ道後温泉本館が改修120周年を迎える。

グランドオープニング Rhizomatiks 「Haunted Onsen」



湯けむりの立たない温泉に、湯けむりを登場させた

本館プロジェクト 中谷芙二子「霧の彫刻」



資生堂が持つ100の椿の図をアニメーション化

本館プロジェクト 福田泰崇「サイバー百椿図屏風」



本館プロジェクト 杵村史郎「ふりかえる」



商店街入り口にコミカルなアニメーションを設置

オンセナートコレクション 藤木寛子「みちととり」



オンセナートコレクション リリアン・ブルジェア「FABULA-寓話」



台湾・北投温泉と松山をつなぐ

オンセナートコレクション ワン・ジュンジェ 「靈湯大発見」



オンセナートコレクション 川瀬浩介「LASTing Wave」



オンセナートコレクション スティーヴン・ムシン「道後夜話」



オンセナートコレクション 鈴木太郎「チョコレート」



オンセナートコレクション 石川智一「詠風庭あかり物語」



オンセナートコレクション 矢内原充志（横浜のデザイナー） オリジナルユニフォーム



森山開次/ひびのこづえ/川瀬浩介「LIVE BONE」



クロージングパフォーマンス 高橋匡太「道後オンセナイト」



ひかりの実プロジェクト 2014年以降毎年12月に開催@道後公園



成果と課題

1) 町の経済発展に寄与

- ・ 来街者、宿泊者、商店街売上ともに増加
- ・ 女性客、外国人観光客増加（台湾）
- ・ 多くの媒体を通じて情報発信、全国的に注目された

● コロナ禍で新たな課題に直面

2) 事業の継続

- ・ 毎年開催の「道後アート」
- ・ 3年に一度開催される「道後オンセナート」

● 継続的な予算拠出の根拠を見失いがち

● 事業者が多く、ビジョンの共有が常に課題

3) 担い手発掘成功

- ・ 継続事業「道後アート」の担い手となるNPOが設立
- ・ メンバーから市議会議員誕生

- ・ 人気クリエイティブカンパニー誕生→NINO INC.代表 **二宮敏氏**

データ編

松山市人口：約50万人

観光客

2013年 564万人（道後本館、椿の湯入浴者104万人 = 1.8%減）

2014年 571万人（道後本館、椿の湯入浴者109万人 = 5.9%増）

2015年 580万人（道後本館、椿の湯入浴者111万人 = 0.8%増）

2019年 615万人（道後本館椿の湯入浴者104万人 = 10.4%減）

外国人観光客23万人共過去最高 = 7月台湾便定期就航

NINO

2013年、NINO INC.設立直後に、道後オンセナートに関わる。

道後オンセナートが話題になり、それが実績となって、行政関係の様々なオファーをいただく。

現在は、企業や自治体のブランディング、アートフェスティバルや都市計画まで、

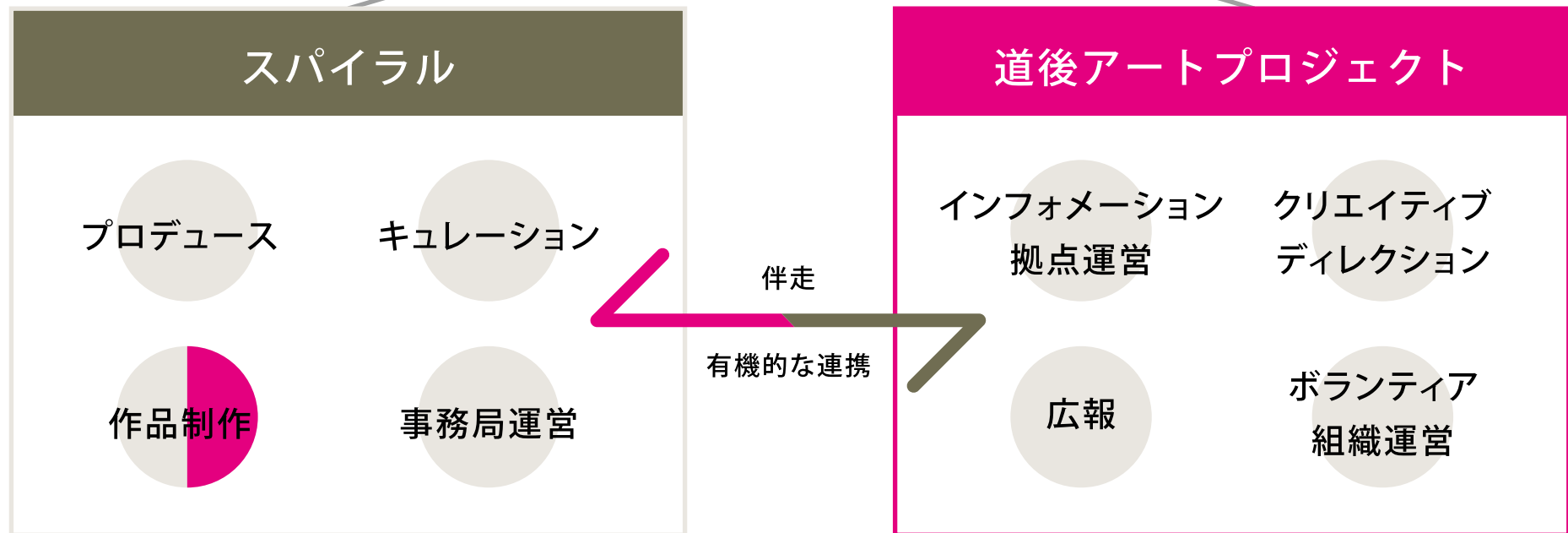
空間、グラフィック、WEBなど、ジャンルを超えてトータルでデザインディレクションを行っている。

オンセナートで作品制作をご一緒させていただいたアーティストから、

他のプロジェクトのオファーをいただく事が多くあり、国内外でのアート作品の制作を担っている。

創業時 1人だったスタッフも、現在では14人に。

道後オンセナート 2014 実行委員会



スパイラルが伴走しながら、地元の担い手やクリエイター、業者のポテンシャルを引き出す

アートイベント / 松山市

PROJECT

道後オンセナート2014

CLIENT

松山市

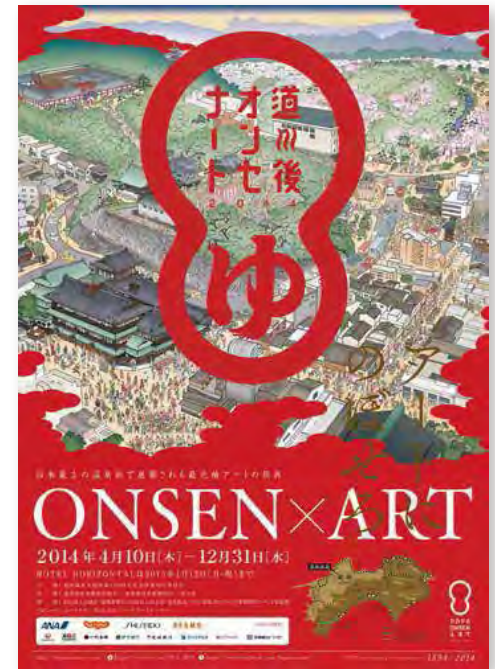
クリエイティブディレクション

PR

事務局運営



ポスター



ガイドマップ



フライヤー



のぼり



総合案内サイン



アートイベント / 松山市

PROJECT

ホテルホリゾンタル

CLIENT

松山市

製作ディレクション

葉山有樹×ふなや 「藍」



石本藤雄 × 茶玻璃 「Suuri Taiga / 大草原」



谷川俊太郎×道後館 「はなのいえ」



草間彌生×宝荘ホテル 「わが魂の記憶。そしてさまざまな幸福を求めて」



アートイベント / 松山市

PROJECT

道後アート2015

CLIENT

松山市

クリエイティブディレクション



アートイベント / 愛媛県

PROJECT

石本藤雄展 - マリメッコの花から陶の実へ -

CLIENT

株式会社ワコールアートセンター

会場構成

制作ディレクション



展覧会 / 佐賀県

PROJECT

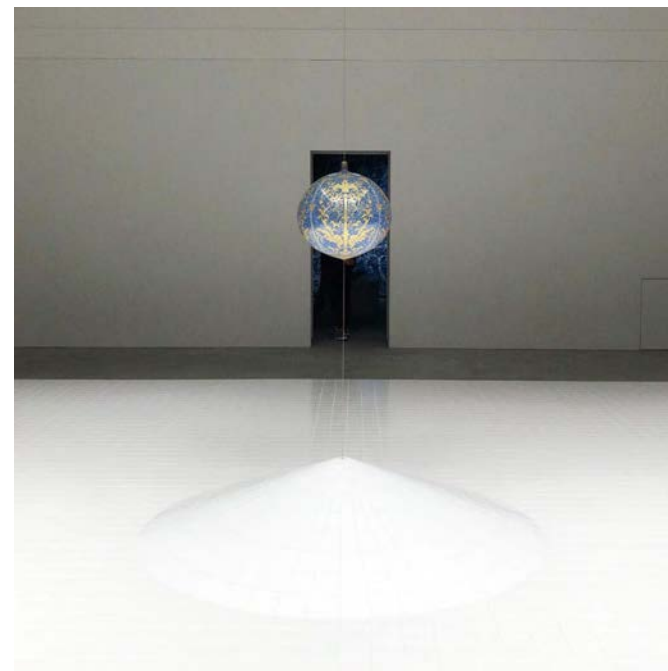
三人展 -Forward Stroke 明日への眼差し-

CLIENT

株式会社ワコールアートセンター

会場構成

制作ディレクション



アートイベント / 台北

PROJECT

MIKA NINAGAWA @ MOCA TAIPEI

CLIENT

有限会社ラッキースター

会場構成

制作ディレクション



NINO INC. / ninoinc.jo

展覧会 / 東京・愛媛 今治市

PROJECT

IMABARI Color Show

CLIENT

愛媛県繊維染色工業組合

クリエイティブディレクション

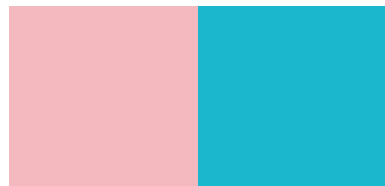
ツールデザイン

WEBデザイン

事務局運営



ポスター



IMABARI Color Show

— AOYAMA / IMABARI —

インビテーション



フライヤー



今治展



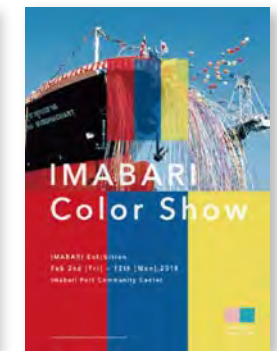
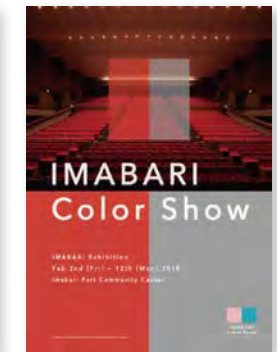
オープンファクトリー



ブックレット



今治展ポスター



店舗 / 東京都

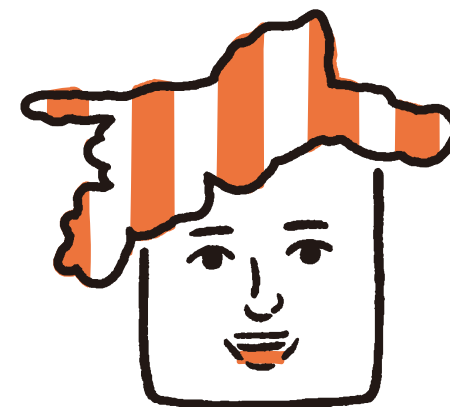
PROJECT

シン・エヒメ

CLIENT

株式会社伊織

ブランディング
コンセプトブック
WEBサイト
コンセプトムービー



シン・エヒメ
SHIN EHIME

コンセプトブック



WEBサイト



第一次産業 / 愛媛県

PROJECT

愛媛県森林組合 原木椎茸ブランディングプロジェクト

CLIANT

愛媛県森林組合

ブランディング

ツールデザイン

WEBサイト

コンセプトムービー



ポスター



タブロイド冊子



第一次産業 / 愛媛県

PROJECT

えひめ南農業協同組合 玉津共選場

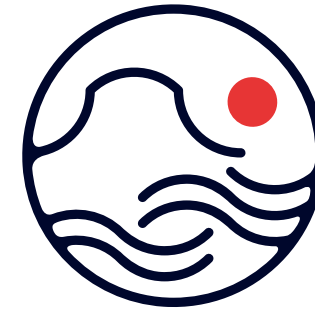
CLIENT

えひめ南農業協同組合 玉津共選場 / K2コミュニケーション 株式会社

ブランディング

ツールデザイン

コンセプトムービー



愛媛県産
玉津
UWAJIMA

ポスター



パンフレット



のぼり



帆前掛け



第一次産業 / 愛媛県

PROJECT

えひめ南農業協同組合 玉津共選場 復興プロジェクト

CLIENT

えひめ南農業協同組合 玉津共選場 / K2コミュニケーション 株式会社

ブランディング

ツールデザイン

ポスター



チラシ



赤箱



ポロシャツ



【西日本豪雨】

- オフィスを支援物資の拠点に
- 現地でのボランティアの環境作り
- 映像作家による被害状況のリサーチ



【新型コロナウイルス】

- 情報プラットフォームの作成・運営
- メディアへの情報提供

#TOGO EHIME



【道後オンセナートに関わったその後】



松波雄大

運営統括責任者



松山市議会議員



清水淳子

PR / 編集者



編集者として活躍しながら
私設図書館を開設



井上真季

デザイナー



地域を代表するデザイナー



大福理絵

ボランティア



デザイナーとして独立

【今後について】

新しい地域のあり方を可視化するプロジェクトを立ち上げ、市民の皆さんの生活が、楽しく豊かになるべくチャレンジ。

- ・ 地域のヒト・モノ・コトの集まる場所の開設
- ・ 若い人材の発掘と伴走しながらの育成

2021 年は新たなステップへ